

平成 29 年度
周南市こども議会
【 会 議 録 】

平成 30 年 1 月 30 日
周南市教育委員会

平成29年度 周南市子ども議会 議事日程（第1号）

平成30年1月30日（火曜日） 午後1時30分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 一般質問

議長

周南市議会 小林 雄二 議長

出席議員（27名）

今宿小学校	生田 鈴乃	いくた すずの	議員
今宿小学校	實近 和華	さねちか かずは	議員
今宿小学校	森山 功士	もりやま いさし	議員
今宿小学校	伊藤 蓮	いとう れん	議員
櫛浜小学校	高松 優里	たかまつ ゆうり	議員
櫛浜小学校	江村 望央	えむら みお	議員
櫛浜小学校	川本 芽依	かわもと めい	議員
櫛浜小学校	関岡 諄祐	せきおか しゅんすけ	議員
櫛浜小学校	磯崎 祥	いそざき しょう	議員
夜市小学校	伊藤 陽花	いとう ひな	議員
夜市小学校	福田 遥花	ふくだ はるか	議員
夜市小学校	林 彩風	はやし あやか	議員
夜市小学校	山内 誠之亮	やまうち せいのすけ	議員
富田西小学校	高杉 文梨	たかすぎ あやり	議員
富田西小学校	佐田國 史穂	さだくに しおん	議員
富田西小学校	中村 綾佑	なかむら りょうすけ	議員
富田西小学校	森本 成吉	もりもと じょういち	議員
和田小学校	兼重 周	かねしげ あまね	議員
和田小学校	北中 希美	きたなか のぞみ	議員
和田小学校	佐藤 舞	さとう まい	議員
和田小学校	竹重 智由	たけしげ としゆき	議員
和田小学校	原 響輝	はら ひびき	議員
三丘小学校	長畠 立樹	ながばたけ りつき	議員
三丘小学校	吉水 悠真	よしみず ゆうま	議員
三丘小学校	有馬 真歩	ありま まほ	議員
三丘小学校	山根 輝	やまね ひかる	議員
三丘小学校	山本 凜緒	やまもと りお	議員

欠席議員（1名）

夜市小学校 兼清 暖菜 かねきよ はるな 議員

説明のため出席した者

市 長	木村 健一郎	君
副 市 長	住田 英昭	君
教 育 長	中馬 好行	君
上下水道事業管理者	渡辺 隆	君
モータースポーツ競走事業管理者	山本 貴隆	君
監 査 委 員	中村 研二	君
政策推進部長	増本 俊彦	君
行政管理部長	小林 智之	君
財 政 部 長	近光 慎二	君
地域振興部長	原田 義司	君
環境生活部長	橋本 哲雄	君
福祉医療部長	大西 輝政	君
こども健康部長	中村 広忠	君
経済産業部長	弘中 基之	君
建 設 部 次 長	中村 一幸	君
都市整備部長	岡村 洋道	君
中心市街地整備部長	小野 卓令	君
新南陽総合支所長	松村 悟	君
熊毛総合支所長	藤井 義則	君
鹿野総合支所長	兼重 雅洋	君
消 防 長	村野 行徳	君
上下水道局副局長	久村 信幸	君
教 育 部 長	久行 竜二	君

議会事務局職員出席者

議会事務局長	藤田 真治	君
--------	-------	---

○議長

みなさん、こんにちは。周南市議会議長の小林雄二です。開会前に一言ご挨拶を申し上げます。

みなさんがおられるこの場所が、周南市議会の議場です。今日はここで、学校で学習をした議会のことや、政治の仕組みなどを体験していただきます。この議場は、市民に選ばれた市長さんや市議会議員が、周南市のまちづくりのことを議論し、決定をする大変大切な場所です。

今日は、みなさんが市議会議員の議席に着き、こども議員となって、質問や提言をしっかりと行なってください。大いに期待をいたしております。市長や、市役所で市民のために仕事をされておられます職員の方からも、真剣にお答えがいただけるものと思っております。今日は、どうぞよろしくお願いをいたします。

続いて、市長からあいさつがあります。

◎市長

こんにちは。周南市長の木村健一郎です。

本日のこども議会は、こども議員のみなさんが、学校の勉強を通して考えてくれた周南市のまちづくりについて、本物の議場で、直接質問をすることができる大切な場です。

みなさんの熱い思いの込めた質問や提案に対して、私もしっかりとお答えをしようと思っております。そして、本日のみなさんの良い意見や提案は、しっかり市政に反映していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長

続いて、副市長から順次、理事者の自己紹介をお願いいたします。

◎副市長

副市長の住田英昭でございます。私の仕事は、市長のサポート役として、日々まちづくりに頑張っております。今日はよろしくお願いいたします。

◎行政管理部長

防災対策、新庁舎の建設、また、職員の人事管理などを担当しております、行政管理部長の小林智之と申します。よろしくお願いいたします。

◎地域振興部長

私は、地域づくりや文化、スポーツ、観光などの仕事をしております。地域振興部長の原田義司と申します。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎政策推進部長

政策推進部長の増本俊彦です。今ですね、周南市を全国にPRするために、一生懸命頑張っております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎財政部長

財政部の近光と言います。財政部では、市民のみなさんから税金を集め、それをまちづくりに必要な仕事に配分しております。本日はよろしくお願いいたします。

◎福祉医療部長

福祉医療部長の大西輝政です。高齢者や障害者、経済的に困っている方への支援と、地域医療の充実を担当しています。今日はよろしくお願いいたします。

◎こども健康部長

私は、結婚、妊娠、出産、子育てに関すること、子育て支援センター、幼稚園、保育所、児童クラブ、そして市民の皆さんの健康を守る仕事を担当しています。こども健康部長の中村広忠です。よろしくお願い致します。

◎環境生活部長

環境生活部長の橋本哲雄です。環境生活部は、住民票や国民健康保険、交通安全、人権推進から野犬、ごみなど、市民生活に密着した仕事をしております。本日はよろしく願いいたします。

◎経済産業部長

私は、商業、工業、農業、林業、水産業の振興と、それから、動物園の管理運営を担当しております。経済産業部長の弘中です。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎建設部次長

建設部次長の中村でございます。建設部は、道路、河川、住宅など生活を支える仕事をしております。そして、みなさんの安心安全を守っていきます。本日はよろしく願いいたします。

◎都市整備部長

公園や土地利用などのまちづくりを担当しております。都市整備部長の岡村洋道です。よろしく願いいたします。

◎中心市街地整備部長

私は、徳山駅周辺の整備と、中心市街地のにぎわい創出を担当しております。中心市街地整備部の小野卓令でございます。よろしく願いいたします。

◎教育長

小中学校のお世話をさせていただいております。教育長の中馬好行と申します。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎教育部長

教育部長の久行竜二と申します。教育行政全般を行っておりますけれども、特に、今は2月3日に徳山駅前図書館をいよいよオープンいたします。是非、みなさんも遊びに来てください。お待ちしております。今日はよろしく願いいたします。

◎上下水道事業管理者

水道事業と下水道事業を経営しております。上下水道事業管理者の渡辺隆と言います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎上下水道局副局長

ただ今紹介のあった上下水道事業管理者をサポートしながら仕事をしております。上下水道局副局長の久村と申します。よろしく願いいたします。

◎モーターボート競走事業管理者

モーターボート競走事業管理者の山本貴隆と申します。ボートレース徳山を経営しております。ボートレースの収益が、みなさん子供たちの医療費の無償化に役立っています。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎監査委員

監査委員の中村研二でございます。周南市のお金の使い方などをチェックしております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎消防長

火災や救急などへの対応を担当しております。消防長の村野行徳です。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎新南陽総合支所長

新南陽総合支所長の松村悟です。新南陽地域の市民サービスを担当しています。どうぞよろしく願いいたします。

◎熊毛総合支所長

熊毛総合支所長の藤井です。私は、熊毛地域のまちづくりを一生懸命やっています。今日はよろしくをお願いします。

◎鹿野総合支所長

私は、鹿野総合支所長の兼重雅洋と申します。鹿野地域の安全安心やまちづくり関係の仕事をしております。今日はよろしくお願ひいたします。

◎議会事務局長

最後になりましたが、市議会事務局長の藤田と言ひます。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。みなさん頑張ってください。

午後1時40分開会

○議長

ただいまから、平成29年度周南市こども議会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の会議日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、有馬真歩議員、生田鈴乃議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りします。

こども議会の会期は、本日1日間としたいと思ひます。これに、ご異議ありませんか。

【 「異議なし」と呼ぶ者あり 】

○議長

ご異議なしと認めます。こども議会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 一般質問

○議長

日程第3、一般質問を行います。

こども議会における一般質問は、6つのグループに分かれて行ひます。

各グループの一般質問は、まず、議員の代表者が「周南市の未来像」を発表いたします。次に、各議員から「自分ができること」、「学校や地域でできること」などを発表いたします。それを踏まえて、市長に対して、議員の代表者から質問や提言があります。

議会では、本来、資料等は用いず、発言だけで議論を進めることが原則であります。

しかしながら、本日、こども議員の皆さんが、これまでの学習の成果を示すため、また、市長や理事者にわかりやすく説明するため、資料等を用意しているグループについては、事前に私の方でその内容を確認しておりますので、資料の持ち込みを許可いたします。

それでは、今宿小学校のみなさん、質問席に移動してください。

【 今宿小学校4名、質問席に移動 】

質問順位第1番、今宿小学校

生田鈴乃議員、實近和華議員、森山功土議員、伊藤蓮議員。

◆生田鈴乃議員

今宿小学校6年の生田鈴乃です。一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来がこうだったらいなという姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「人も動物も活気のあるあかるいまち」というテーマで提案します。

近年、今宿地区にも野犬が増え、登下校のときや公園で遊ぶときなど、怖い思いをすることが多くあります。だから、怖い思いをすることを少しでも減らして安心して過ごせるようにしたいと考えました。また、犬や猫とふれあえる場所があったり観光客が増えたりすると明るいまちになると思いました。人や動物がふれあってあかるいまち、人も動物も幸せなまちにするために自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表します。

◆實近和華議員

今宿小学校6年の實近和華です。私は、そのために少しでも捨て犬や捨て猫が減るように、犬や猫を大事にしてもらえるように呼びかけるポスターを作ります。

◆森山功土議員

今宿小学校6年の森山功土です。ぼくは、そのために野犬を見つけたら、学校や家の人に言って、保健所に連絡してもらいます。

◆伊藤蓮議員

今宿小学校6年の伊藤蓮です。ぼくは、そのために動物を大事にしたり、どんなふれあいができるかを考えたりします

◆森山功土議員

ぼくたちのテーマである、「人も動物も活気のあるあかるいまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

それは、全校にアンケートをとって、学校でできることを明確にすることです。今回、野犬についてのアンケートをクラス25人にとりました。これを全校に広げ、みんなの願いを聞き、学校での取組を具体化したいと思います。

また、地域でできることとして、今宿小おやじの会の方々と協力することです。今宿小のお父さんたちを中心に結成されたおやじの会の方々と、放課後や休日に校区内パトロールをしたり、放課後の公園で見守りをしたりしたいです。

◆生田鈴乃議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、徳山駅前商店街に、「わんにゃんドーム」という施設を作って欲しいということです。人の賑わいが減ってきた商店街を利用して、人や動物がふれあえる場所を作ってはどうでしょう。商店街に犬や猫とふれあえる施設が増えると、商店街に人が増え、徳山駅に立ち寄った観光客も寄ってきて、わたしたちのまちがにぎやかになります。

また、その施設内にいろいろな施設を作ることで、私たち小学生はボランティアとして、活躍することができます。たとえば、犬や猫とのふれあいコーナーの案内をしたり、動物の本が置いてあるスペースで読み聞かせをしたりすることができます。ボランティアをすることを通して、

たくさんの人や動物とふれあうことができ、まちに活気があふれてくると思います。

2つ目は、野犬を減らして欲しいということです。実際、周南市においても野犬を減らす取組を行っておられることは知っていますが、野犬におびえて楽しく遊べないことがあるので、今まで以上の取組をして欲しいと思います。減らしてもらえると、安全に過ごせるし、犬や猫に怖い思いを抱いている人も少なくなってくると思います。いかがでしょうか。

以上、2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

2つの質問をいただきました。野犬の問題は、周南市の大きな課題の一つでありまして、まず第一に、皆さんから犬や猫とふれあえる施設「わんにゃんドーム」を徳山駅前商店街に作っては、というユニークな提案をいただきました。

今、駅前商店街の話がされましたが、中心市街地、まちが大きく変わろうとしています。もう4日すると、2月3日には徳山駅前賑わい交流施設と図書館がオープンします。また、夏には市役所本庁舎での業務も開始しますし、ちょい乗り100円バスで、駅から動物園や文化会館などへの人の流れも生まれ、まちのにぎわいが生まれてくることを期待しているところです。

ところで、市役所というのは、皆さんから集めた税金を使って仕事をしています。税金を使ってどのような仕事をしていくかということについては、やはりこれが市民のためになるかどうかという観点がとても大切だと思います。犬や猫とだけふれあえる施設を、まちなかに税金を使って作るということはちょっと難しいかなというふうに思っています。大変夢のある案ではありますが、民間の方でも1月25日に、PH通りの空き店舗を利用して、犬と一緒に入ることができる「ドッグカフェ」をオープンされたそうです。そして都会では、「猫カフェ」そして「フクロウカフェ」、こういうのも人気であります。

そして今、市の方で動物とふれ合える元気な場所ということでありまして、まちなかに動物園があります。動物園ではいろんな動物とふれあうことによって、そしてふれあいコーナーなどで、人に潤いや憩いや元気を与えてくれます。平成28年には「るんちやるんちや」、去年は「自然学習館」や「野鳥観察センター」がオープンしています。犬や猫ではないけれども、動物とふれあえる施設なので、多くの人に来てもらい、動物とのふれあいを楽しんでほしいと思っています。

そして、野犬対策ですね。狂犬病は大変怖い病気ではありますが、この狂犬病などの病気から県民を守るという立場から、野犬を捕獲するのは県の仕事、そして捕獲して管理するのも県の仕事、周南保健センターがありますが、ここでは周南市、下松市、光市を管轄しております周南環境保健所がそういう仕事を行っています。市の役割ですが、犬を正しく飼っていただくため、犬の飼い方教室、飼い犬の登録、市民の方が犬と一緒に安心して暮らすためのサポートをする、というのが市の仕事になります。

もちろん、市としても野犬対策は何とかしたいと考えていますので、県の保健所の捕獲に協力をしています。それから、やはり野犬が増えないための環境整備、これも市の仕事になります。また、むやみな餌やりを禁止するためのパトロールも行っています。野犬対策は、市だけでは解決できる問題ではないので、保健所や地域の皆さんと“共に”しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

詳細は、担当部長の方がお答えをいたします。

◎中心市街地整備部長

みなさんから商店街に犬、猫との触れ合いの場を作ってはどうか、という趣旨のご提案をいただきました。

今、市長の答弁にもございましたが、この2月3日の土曜日、徳山駅前図書館を核といたしました徳山駅前賑わい交流施設がオープンします。この施設は、ここに来たたくさんの方に商店街の方にも行ってもらい、商店街ににぎわいを取り戻すために整備したものでございます。この施設のオープンに合わせまして、どういったことに取り組んでいけばにぎわいを取り戻すことができるか、ということで商店街の皆さんや市の担当者といった関係者が一緒になって、会議を開いております。

みなさんからご提案の趣旨にございます「犬、猫とのふれあいをメインとしたイベント」の開催につきましても、この会議にはかりまして、みなさんの思いが実現できないか、検討してまいりたいと思います。

また、周南市には徳山動物園というすばらしい施設、財産がございます。こちらとも連携しまして、動物とのふれあいを目的としましたイベントについても、検討してまいりたいと思っております。

◎経済産業部長

経済産業部長の弘中でございます。先ほど市長が申し上げましたけれども、1月25日に中心商店街に「ドッグカフェ」がオープンしたところです。私もちょっと1月25日に立寄ったのですが、オーナーの方がおっしゃっていたのが、周南市にはペット同伴で入店可能なお店がない、ということでぜひ入店可能な喫茶店を開業したい、という思いからだそうです。また、ペットを飼いたくても家で飼えない人たちのために、喫茶店に犬をおいて、お越しになられた人がふれあえる環境を作りたいということもおっしゃっておられたところです。今後「ネコカフェ」ができればいいなと思っております、この「ドッグカフェ」も空き店舗対策の一環として市の方で支援させていただいたところです。将来、また「ネコカフェ」も空き店舗対策の一環で出店していただければ、市としても支援していきたいと思っております。

それから、犬や猫とだけふれあえる施設を市で作るのは、ちょっと難しいのかなと思っております。市長も申し上げましたけれども、平成28年3月には小動物とふれあえるコーナーとして「るんちやるんちや」がオープンしました。平成28年度には「るんちやるんちや」の来場者として、13万5千人にお越しいただきました。

また、飼育の大変さとか、動物愛護の気持ち、命の大切を学ぶことを目的とした「キッズキーパー」という体験コーナーを設けているのですが、小学生約2千人の方に体験いただいたところです。

昨年10月には「自然学習館」や「野鳥観察所」がオープンして、レッサーパンダがこんなに間近に体験できる施設はないね、と市民の方から好評をいただいているところです。

今後ですが、徳山動物園は昭和35年3月にオープンして、既に60年が経過しようとしているところです。順次、今リニューアルを進めておりまして、今年の夏には「ペンギンプール」がオープンします。それから来年6月には新しい「ゾウ舎」がオープンします。ミリングとナマリーに早く赤ちゃんができないかなと、市長以下動物園スタッフは非常に楽しみにしているところです。順次、動物園をリニューアルしてまいりますので、新しくなった動物園を楽しんでいただけたらと思います。

◎環境生活部長

2つ目の野犬対策についてございますが、周南市では、以前から野犬が大きな問題となっております。みなさんが住んでいらっしゃる今宿地区でも野犬の情報が寄せられております。

市では、保健所に協力するために捕獲作業を手伝ったり、今年度 4m四方の大型捕獲檻を購入して、周南緑地公園に設置したりしております。

また、野犬が減らない原因として、飼い主が無責任に捨てたり、むやみなエサやりによって、野犬が子供を産んで増やしているという状況があるため、平成 28 年と平成 29 年 3 月に周南緑地公園周辺の自治会のみなさんや保健所の職員と一緒に、スーパーやコンビニで、むやみなエサやりの禁止、動物を遺棄しない、いじめたりしないというようなチラシを作って、市民の皆さんに配って呼びかけたところでございます。市の職員は周南緑地公園内のパトロールもしています。

ほかにも、市では飼い犬、飼い猫が必要以上に増えないように、不妊や去勢費用の助成もしたりしています。

市長も申しましたように、野犬対策を実施しておりますが、なかなか市だけでは解決できる問題ではございません。引き続き、地域の皆さんや関係機関と協力しながら、一日も早く野犬がいない環境づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長

時間が経過いたしましたので、再質問があれば認めます。再質問はありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、今宿小学校の一般質問を終了いたします。

【 今宿小学校 4 名、議員席に移動 】

○議長

次に、榑浜小学校 榑浜ファイブのみなさん、質問席に移動してください。

【 榑浜小学校 5 名、質問席に移動 】

質問順位第 2 番、榑浜小学校 榑浜ファイブ

高松優里議員、江村望央議員、川本芽依議員、関岡諄祐議員、磯崎祥議員。

◆磯崎祥議員

榑浜小学校 6 年の磯崎祥です。ぼくたちの一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来がこうだったらいいなという姿を、希望を込めて発表します。

ぼくたち榑浜ファイブは、ぼくたちの住む榑浜地区が、「明るい！ゴミの少ない！生活環境が整っているまち」になってほしいというテーマで提案します。

学校内でアンケート調査を実施した結果、全校児童 352 人中、約半数の児童が、地域に多くの公園があるのに利用していないということが分かりました。理由としては、暗い、汚いというものが多くあがっていました。また、環境省が実施している「平成 27 年度一般廃棄物処理実態調査」の結果から、周南市の 1 人 1 日当たりの家庭ごみの排出量は、全国 814 市区中、515 位になっていることを知り、さらにゴミの減量を進めていくことが必要だと考えました。

そこで、公園のトイレや遊具の整備を進めたり、ゴミの排出量を減らしたりすることで、魅力あるまちづくりに貢献できると思い、このテーマに決めました。

まず、この願いを実現させるために、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表します。

ぼくは、公園や公園のトイレなどみんなで使う場所の清掃活動をしたら良いと思います。

◆関岡諄祐議員

榑浜小学校 6 年の関岡諄祐です。ぼくは、不要なゴミを減らすために、買い物に行くときは、マイバッグやエコバッグを持って行くようにします。ビニール袋をもらわないようにして、ゴミを減らします。

また、周囲の人にもマイバッグやエコバッグの持参をすすめたいと思います。

◆江村望央議員

榑浜小学校 6 年の江村望央です。私は、ポスターを作って、ゴミを減らすための資源回収をすすめたり、公園やトイレの利用マナーについて呼びかけたりしたいと思います。また、学校内でクリーンポスターを募集して、みんなの意識を高めるために、地域の方にも呼びかけたいです。

◆高松優里議員

榑浜小学校 6 年の高松優里です。私は、分別を心掛け、リサイクルできるものは、なるべくスーパーのリサイクルボックスに入れるようにします。学校で学んだ Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の 3R についても、地域の人たちに呼びかけていきたいと思っています。

◆川本芽依議員

榑浜小学校 6 年の川本芽依です。私は、みなさんにきれいな公園やトイレを気持ち良く使ってほしいと思っています。私は、他の人のことも考えて、公園やトイレを利用します。一緒に遊びに行く友だちにも、声をかけていきたいと思っています。

◆関岡諄祐議員

ぼくたちのテーマである「明るい！ゴミの少ない！生活環境が整っているまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

◆川本芽依議員

それは、まず、学校で公園の清掃活動を実施したり、オリジナルのエコバッグを作ったりすることです。生活環境が整っているまちにするためには、みんなで使う場所がきれいでないといけないからです。オリジナルのエコバッグを作って家族や地域の人に使ってもらい、レジ袋の使用を減らしたいと思います。

次に、フリーマーケットやバザーなどのイベントを開催して、使えるものは、無駄なく再利用することです。先ほど、磯崎議員からも発言がありましたが、周南市の 1 人 1 日当たりの家庭ゴミ排出量は、全国 814 市区中 515 位です。そのことから、さらにゴミの減量を進めていくことが大切だと思いました。

◆江村望央議員

そこで、市長に提案します。

1 つ目は、「トイレの壁や公園の遊具などをペンキで明るく塗り替えるなどの公園整備をしてほしい」ということです。トイレの壁を明るい色で塗ってもらえると、みんなが気持ち良く使えると思うからです。遊具もペンキの色が落ちていたり、サビが出ていたりするところをきれいに塗ってもらいたいです。

2 つ目は、「小学校、中学校の児童生徒のデザインが入った分別リサイクルボックスを、公園やスーパーなどに設置してほしい」ということです。進んでリサイクルボックスを利用したくなるようなデザインを、私たちが考えてみました。また、そのデザインも年によって新しく変えていけば、市民のみなさんも気にしてくれて意識も高まると思います。

◆高松優里議員

3つ目は、「ゴミ袋に分別を意識する表示を印刷してほしい」ということです。私たちがゴミ袋のデザインを考えてみました。この表示を見れば、市民のみなさんにより分別を意識してもらうことができ、リサイクルにまわせるのにゴミとして捨てられているものを減らす効果があると思います。

4つ目は、「資源ゴミや粗大ゴミの無料回収をしてほしい」ということです。例えば、定期的に各地区に回収車をまわすのはどうでしょうか。そして、回収した粗大ゴミの中から使えるものについては、希望する人に提供したり、程度の良い物は低価格で販売するなどしたら市民のみなさんも喜んでくれると思います。

明るい！ゴミの少ない！生活環境が整っているまちにするために、以上4つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

今回、公園の清掃やゴミの減量などについて、みなさんが真剣に考えてくれたことを大変うれしく思っています。また、リサイクルボックス、そしていろいろなごみの新しい袋、かわいいデザインを考えてくれて、ありがとうございます。

さて、みなさんの家や小学校の近くにある公園、子どもからお年寄りまで誰もが安心して楽しく遊べる憩いの場所ですね。榑浜小学校の方から質問が出たので、私もちょっと調べてみたら、榑浜小学校の周辺には9つの公園、そして、うちトイレがあるのが3つの公園、あそことあそこだな、と思いながら考えさせていただきました。

ところで、みなさんが気持ちよく公園を利用することができるように、現在、市の方でも週に2、3回の清掃をしています。公園のトイレは、清掃の時に不具合がないのかも見てもらっていきまして、不具合があれば修理をしています。遊具は2か月に1度、職員が点検しております。長寿命化計画、長くモノを使っていこうという計画を立てまして、遊具やベンチなどの改修なども行っています。また、福祉団体の方や地域の「公園愛護会」のみなさんにも、清掃や草刈、遊具の破損箇所の通報などのご協力をいただいているところです。公園の遊具については、日本塗装工業会山口県支部の方々、色あせた遊具や施設の塗装を、ボランティアでしていただいたこともございます。

ごみを少なくすることについても、いろいろと考えて提案をしてもらいました。ごみは捨てればごみですけれども、分ければ資源になる。これは学校でも習ったことだと思います。

そして、小中学生がデザインした分別ボックスの設置、ゴミ袋に分別を意識してもらう表示の印刷、資源ごみや粗大ごみの無料回収と再利用などは、大変良い意見だと思います。ゴミ袋は、定期的に作り変えていますので、次回、作り変える時にみなさんの意見もふまえて、ゴミ袋のデザインを考えてみたいと思います。

粗大ごみにつきましては、その種類によっては収集運搬や処理経費がかかるので、ごみを出した方にごみの種類に応じて処理費の一部を負担してもらい、随時回収をしています。また、回収した粗大ごみのうちまだ使用できるものは、年に2回ほど開催しています「エコフェスタ」で、希望される方に無料で提供もしています。

しかし、自分のごみは自分で持ち帰ってもらうことできれいな公園にしたいという思いから、現在、公園にはゴミ箱を置いていません。ゴミ箱があるからまちがきれいになるのではなくて、ごみを捨てないように意識することが大切だと思っています。提案の中で、エコバッグなどを使うことで、レジ袋の使用を減らしたいという意見がありましたが、これからの時代はそういう意識を市民全体が持つことが大切だと思っています。

ごみを少なくするということは、ごみの最終処分場の使用期限を延ばすことにもつながるので、みなさんの周りの人にも呼びかけて、“共に”ごみの少ない明るいまちづくりを進めてまいりましょう。

私の答弁もれがあれば、担当部長からお願いします。

◎都市整備部長

みなさんからのご指摘、大変ありがとうございます。

ところで、周南市に公園はいくつあるかご存知でしょうか。全部で 260 あります。そのうち都市公園は 160 か所ぐらいあります。それを、市長が申しましたように、皆さんの力や職員で清掃やいろいろな修理などをやっています。

もし、汚いところなどがあれば、教えていただければすぐ対応したいと思いますので、これからも公園で楽しくみなさんと一緒に遊んでください。よろしくお願いします。

◎環境生活部長

最初に、デザインが入った分別リサイクルボックスを公園やスーパーなどに設置する、ということですが、市長が申しあげましたように、公園等にリサイクルボックスを設置するのは難しいと思いますが、ご提案いただいた小中学校の児童のデザインについては、現在自治会が設置されているごみステーションの収納ボックスに活用できないか、ということについて検討してまいりたいと思っております。

次に、3 点目のごみ袋の分別を意識してもらおう表示を印刷する、ということですが、ごみ袋の作成経費というのは、平成 28 年度で約 8 千 100 万円が 1 年間にかかっています。したがって経費削減のために、印刷面はオモテ面のみ 1 色としておりますが、ご提案いただいたデザインも含めて、いろいろな方々のご意見を参考にしながら、わかりやすい表示となるよう随時検討してまいりたいと考えております。

最後に、定期的に資源ごみや粗大ごみを無料で回収する、ということですが、市長が申しあげましたとおり、既に無料で収集回収を行っておりますが、平成 28 年度の 1 年間で約 6 千件の回収を行ってきております。そうして回収した資源ゴミ等につきましては、リサイクルプラザベガサスで分別して、年に 2 回、市民の皆様にも無料で提供しております。ご提案いただいた低価格での販売については、検討したいと思っております。

また、エコフェスタについては、いろいろなイベントを用意しておりますので、みなさん是非、遊びに来てください。

○議長

時間が経過いたしましたので、再質問があれば認めます。

◆関岡諄祐議員

ぼくたちが提案した 4 つのことについて、実現をお願いします。市長、よろしくお願いします。

◎市長

先程答弁したとおりで、できるところはしっかり行ってまいります。

○議長

再質問は、ほかにありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、榑浜小学校 榑浜ファイブの一般質問を終了いたします。

【 榑浜小学校 5 名、議員席に移動 】

○議長

次に、夜市小学校のみなさん、質問席に移動してください。

【 夜市小学校4名、質問席に移動 】

質問順位第3番、夜市小学校

伊藤陽花議員、福田遥花議員、林彩風議員、山内誠之亮議員。

◆伊藤陽花議員

夜市小学校6年の伊藤陽花です。一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来がこうだったらいいなという姿を、希望を込めて発表します。

それは災害に強いまちです。最近では日本各地でさまざまな災害が起こり、困っている様子をニュースなどで目にします。いつ、私たちのいるところで起こるか、とても心配です。そこで私たちは、建物などの施設や人々の防災に対する意識が高くなり、周南市が災害に強いまちになるように考えてきたことを提案します。

まず、「災害に強いまちづくり」について、自分たちでできることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。私は、災害に強いまちづくりのために、地域の中の危険な場所を探して、そこには近づかないようにしたいです。

◆福田遥花議員

夜市小学校6年の福田遥花です。私は、そのために、災害が起きたときに避難する場所を親と話し合って確認します。

◆林彩風議員

夜市小学校6年に林彩風です。私は、そのために、避難訓練に真剣に取り組みます。

◆山内誠之介議員

夜市小学校6年の山内誠之介です。ぼくは、そのために、得意な絵を生かしてポスターを作りたいと思います

◆福田遥花議員

私たちのテーマである「災害に強いまちづくり」のために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

夜市小学校では、毎年4年生が安全マップを作っています。そして、保護者の方や地域の方に発表しています。その後、安全マップは学校に飾られるので、発表する日以外は地域の方は見ることができません。そこで、その安全マップをコピーし、公民館など人が大勢集まるところに展示すると良いと思いました。そして、防災について関心をもってもらえたらと思います。

◆林彩風議員

私は、地域と学校合同の避難訓練を行うと良いと思います。今、私たちは年に三度の避難訓練を行っています。地域でも避難訓練が行われています。しかし、別々で行っているため、お互いのことがよくわかりません。これを一緒に行うことで、本当に災害が起きたときにどのような行動をとれば良いのかもっとははっきりとわかると思います。季節ごとに場所や状況を細かく変えたり、避難ルートの説明をしたりして実施できたらと思います。

◆山内誠之介議員

そこで、市長に提案します。

1つ目が、食料品などの備蓄についてです。個人個人では、大量の防災グッズを持って逃げることは難しいと思います。そこで、避難場所である学校の体育館のステージの下などの空いているスペースに食料や水などを保管できたら、万が一の時も安心なのではないでしょうか。

2つ目は、道路の整備についてです。夜市小学校では津波からの避難のときには鷹飛原八幡宮へ避難をすることになっています。しかし、今は急な階段なので、もし車いすの方がいたら登ることができません。お年寄りの方や赤ちゃんのことを考えると、スロープの方が良いと思います。

3つ目は、街灯についてです。ぼくたち夜市小学校に通う多くの方が住んでいる通りは、街灯が少なく、夜になると真っ暗で見えづらいです。その中で避難するとすると、別の被害が出るかもしれません。そこで、避難経路にあたるピンポイントで街灯を建ててもらいたいと思います。

4つ目は、水害に関してです。ぼくの通学路にある的場川という川は、大雨などが降ると水位が増してとても怖いです。そこで、川にガード用のレールを設置してもらおうと安心です。

以上4点について、ご回答をお願いします。

◎市長

夜市小学校のみなさんから、災害についてたくさんの意見や提案をいただきました。

災害は、いつ、どこで、どのような災害が起こるか分からない、そんな時代を迎えています。そういう時に大切なのは、「自助」・「共助」・「公助」の考え方です。まず自分の身は自分で守る、これが自助。そして地域や家族で互いに助け合う、これが共に助ける共助。公助というのは行政がみなさんの安心安全の最後のとりでとして守る。これら自助・共助・公助の考え方が大切です。

そして周南市では、現在、全地域で自主防災組織を立ち上げています。毎年、11月の第3日曜日に、総合防災訓練というのも行っています。

ここで大事なのは、日頃から地域の中でお互いを知り、地域のきずなを深めておくことだと思います。夜市地区では、通学合宿で子どもたちが地域の方の家に、お風呂を借りに行くということもされています。世代を超えて地域のきずなを深めるすばらしい活動であると思いますし、先ほどいただいた学校と地域と一緒に避難訓練を行う、これもとても良い提案だと思います。

今、周南市ではコミュニティ・スクール、全小学校・中学校が地域と共に教育を行っています。是非、これからも、いつ起こるか分からない災害に備えるためにも、地域のきずなを深めるこうした活動をしっかりと行なっていただきたいと思います。

そして、自助・共助・公助、公助の部分では、市は市民の安心安全を守る責務があります。

そこで、災害情報を市民のみなさんに伝えるだけでなく、各地域の自主防災組織との情報のやり取りや、また河川の水位を監視したりすることのできる「防災情報収集伝達システム」の整備を進めているところであります。システムは、平成30年度に完成し平成31年度から稼働する予定です。

また、アルファ米や保存水も大量に備蓄しています。備蓄食料等は、賞味期限の管理も必要なため、本庁舎や各総合支所等に保管してあります。そして災害の時には、そこから各避難所に配布することになっています。この備蓄食料等が不足した時に備えて、スーパーマーケットなど、民間の会社と災害応援協定を結んで、必要な食料や物資を届けてもらうお願いもしているところであります。

そのほか、避難経路の道路、街灯の整備、川にガード用のレールの設置という提案もありますが、地域のみなさんと話し合いながら考えてみたいと思います。

今回、皆さんが災害のことについて考えてくれたことは、大変うれしい、頼もしく感じました。日頃から、災害が起きた時にどのような行動をとるのか、ご家族や地域の人たちとしっかりと話し合いながら、災害に強いまちづくりを“共に”進めてまいりましょう。

◎行政管理部長

まず、1点目の避難場所である学校の体育館などに、食料品や水などを備蓄するというご提案について、お答えいたします。現在、市では、お湯又は水を入れることによって食べることができるアルファ米を最大で1万5千食、500ミリリットルの保存水を最大で3万本備蓄しております。備蓄しているアルファ米や保存水には賞味期限があり、これが5年間になります。毎年5分の1ずつを更新しているという管理をしております。

ご提案の件でございますが、市内には避難所が139か所あります。これらのアルファ米や保存水は賞味期限があり、ともに口に入れるものですので、適正な管理が必要になります。このようなことから、現在では、本庁と地域の拠点施設である各総合支所に備蓄している、そして離島である大津島は大津島支所に備蓄をしています。これらを備蓄しているところから、必要なものを必要な時に避難所に届ける体制をとっておりますので、引き続きその体制で取り組んでいきたいと考えております。

2点目の八幡宮の階段にスロープをつけては、ということですが、八幡宮に上るルートには、裏の方に車がぎりぎり通行できるルートもあります。まずは、そちらの避難も考えていただければと思います。ルート上には坂もありますので、いずれにしても災害で非難する時の大事なことは、地域のみなさんが助け合って車いすやお年寄り、または赤ちゃんが安全に避難できるように、地域で協力して対応いただければ、と思います。

◎環境生活部長

街灯でございますが、街灯の一つに防犯灯というものがあります。これは夜間に不特定多数の人が通行する生活道路で、防犯上不安のある場所などに設置されるものです。このように、防犯灯は災害避難のためではなく、地域の方々が防犯上、必要性を判断して設置していただいているものでございます。この設置費用に対しては、市の方で一部補助しており、防犯灯の設置が必要な場所がございましたら、地域の方や市にご相談いただければ、と思います。

◎建設部次長

4点目的的場川沿いにガードレールを設置して欲しい、というご提案です。的場川など河川沿いの危険箇所については、その隣にはたいてい道路がありますので、道路を管理する者がガードレールや安全柵などの対策をするようになっております。今後は、ここが通学路であれば、学校や道路管理者、警察などで行う通学路の合同点検で危険箇所を具体的に把握し、また自治会等と協議して、具体的な危険箇所を抽出していきたいと考えております。

また、的場川は山口県が管理する河川でありますので、山口県とも協議しながら適切な対応に努めてまいります。よろしく願いいたします。

○議長

再質問はありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、夜市小学校の一般質問を終了いたします。

【 夜市小学校4名、議員席に移動 】

○議長

一般質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。

次の会議は、14時50分から再開いたします。

午後2時33分休憩

午後 2 時 50 分再開

○議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、富田西小学校のみなさん、質問席に移動してください。

【 富田西小学校 4 名、質問席に移動 】

質問順位第 4 番、富田西小学校

高杉文梨議員、佐田國史穂議員、中村綾佑議員、森本成吉議員。

◆高杉文梨議員

富田西小学校 6 年の高杉文梨です。一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来がこうだったらいなという姿を、希望を込めて発表します。

まちのいたる所に緑があふれ、たくさんの人々がふれあえるまち。花や木に囲まれ、心が安らぐまち。そんな周南市になるといいなと思います。

そこで私たちは、「緑あふれる富田地区にするために」というテーマで提案します。このテーマを目指して、自分たちができることを考えたので、一人ずつ発表します。

私は、緑あふれる富田地区にするために、道ばたの花を踏んだりわけもなくちぎったりせず、一つ一つ大切にします。

◆佐田國史穂議員

富田西小学校 6 年の佐田國史穂です。私は、そのために学校の花壇をきれいにします。

◆中村綾佑議員

富田西小学校 6 年の中村綾佑です。ぼくは、そのためにポスターを描いて呼びかけます。

◆森本成吉議員

富田西小学校 6 年の森本成吉です。ぼくは、そのために花や木を大切にします。

◆佐田國史穂議員

私たちのテーマである緑あふれる富田地区にするために、一人ひとりができることの他にも、学校でできることは何かを考えました。それは、学校の花壇をきれいにすることです。私たちの学校では、緑化委員会を中心に花壇の草取りや花の水やりを毎日しています。夏休みにも 5、6 年生が交替で毎日学校に来て、暑い中花の水やりをしました。月に 1 回、「グリーンデー」を設け、花壇の整備や鉢植えの世話を全校児童で取り組んでいます。

このような活動を継続して行うことで、花や緑を大切にする意識を高め、さらに意欲的に愛情を持って花の世話をしていくことができるのではないかと考えます。また、花や緑を大切にするポスターを作り、公民館やお店に掲示させてもらうことで、地域の方々にも呼びかけることができると考えます。

◆森本成吉議員

ぼくも緑あふれる富田地区にするために、地域でできることは何かを考えました。

1 つ目は、各家庭に花の苗を配り、庭などに植えてもらうという運動です。この運動を「一家一輪運動」と名付けます。これにより、自分の花という思いから、花を大切にする意識が芽生え、花や植物を育てることに興味を持ってもらうことができると思います。

2 つ目は、公園や学び・交流プラザなどの公共の場に花壇を作り、地域の人が世話するということです。地域の人々が協力し、楽しみながら花を育てることで、人と人とのつながりが広がり、深まることと思います。

◆中村稜佑議員

ぼくたちが住んでいる富田地区にはコンビナートがあります。国道が走り、多くの交通量があります。街中や工場付近には花や緑が少なく、環境に対して住民の関心も薄いように思われます。そこで、市長に提案します。

1つ目は、フラワーフェスティバルのようなイベントを開催してほしいのですが、いかがでしょうか。イベントでは、来場者に花をプレゼントしたり、花や木の苗を安く販売したりします。みんなで記念樹を植樹します。有名人をゲストに迎え、花や木を大切にすることを呼びかけてもらうことで、たくさんの人にアピールすることができます。永源山公園で開催してはどうですか。

2つ目は、コンビナートに続く道や駅前などに街路樹を植えることです。今でも街路樹はありますが、さらに数を増やすことで空気がきれいになり、環境をよくすることができるのではないのでしょうか。それにいつも緑を目にすることで、住民の心もなごまされるのではないのでしょうか。

以上、2つのことについて回答をお願いします。

◎市長

花や緑は、人の心を豊かにし、なごませいやしてくれる大切な存在だと思います。みなさんが緑あふれる富田地区にするためにどうしたら良いか、真剣に考えてくれたのがよくわかります。

周南市には、規模の大きい永源山公園や周南緑地公園のほか、各地区にも多くの公園がありますが、永源山公園では、5月の「つつじ祭り」、また10月の「ゆめ風車まつり」など、イベントを既に行っています。そこでは、花の苗やチューリップの球根もプレゼントしていますし、また、地域や学校などの花壇コンクールの表彰式も行っています。今年の9月には、山口きらら博記念公園で「山口ゆめ花博」が開催されますが、これに周南市も連携して取り組んでいるところです。こうしたイベントなどを通して、市民のみなさんに花や木を大切にすることを育てていただき、周南市全体が緑豊かな心安らぐまちになるよう、市民のみなさんと“共に”取り組んでいるところです。

さて、現在、周南市では、50の路線に約5千本の街路樹が植えられています。代表的なものであれば、徳山駅前に大きなヒマラヤスギやイチョウなどがありますが、実はちょっと大きくなりすぎてうっそうとしているかな、と感じているところです。市では、適正な緑の量にして、すっきりとした景観になるように、昨年からは枝を間引くなどの作業をしているところです。その他、道路の街路樹も秋になると葉が落ちます。地域の皆さんにも落ち葉の清掃をしてもらっているところです。街路樹を維持、管理するのは、実は大変な労力とお金がかかります。街路樹は、多ければ良いということではなく、適切な場所に適切な量の緑が配置されることが大切だと思います。市では適切な環境を維持できるよう、管理をしているところです。山崎八幡宮の前、富田中学校のところに、桜並木を植樹しております。あれが大きくなるととても楽しみだなと思っています。また、街路樹を植える時には、ある程度の歩道の広さも必要な、と思いますし、どんな街路樹を植えるかも大切だと思います。

みなさんには、学校の花壇を花と緑でいっぱいにするなど、みなさんにできることを頑張ってもらいたいと思います。花と緑が豊かな周南市を“共に”創っていきましょう。

詳細は、都市整備部長がお答えいたします。

◎都市整備部長

今、言われた永源山公園は、周南市を代表するとてもすてきな公園だと思います。多くの緑に囲まれていて、噴水の水とも、たわむれることができます。そういう公園で、市としても市長が申し上げたとおり、つつじ祭りやゆめ風車まつりなど、いろいろな催しをやっております。

フラワーフェスティバルほどではないですが、今年も2日間で約3万7千人と多くの方に来ていただきました。そして、花の苗をお配りする時も大変な行列ができて、全部のみなさんにお渡しできなかったのはちょっと残念でしたけれども、やはりそういう機会を通じて、花に親しんでもらって、苗を家に持って帰って大きく育てていただくという、そういう取り組みを今後もずっと進めて行きたいと考えております。

花や木とふれあう取り組みとして、市が行っているものとしては、例えば、京都大学のフィールド科学教育研究センターというのがありますが、そこが周南西緑地にもともと演習林と言いますか、いろいろな樹木を植えて、それを観賞してどういう育成をしていったら良いのかを研究する施設がありました。それが今は一ノ井手の方に移りまして、そこでは杉の木とか、ひわだを取るための活動をしておられます。その大学の先生を講師に招いて年に1、2回ほど、樹木いわゆる森と海とはすごく連携があり、山で培った豊富な水が海に流れて魚など生態系の環境も助けているといった連携した講座も行っていますので、参加してみてください。

あと、地域での花壇づくり講座なども年2回ぐらい行ってまして、市の広報でも募集していますから、花と緑の興味がある人は是非、見ていただきたいと思います。

次に、街路樹のことですが、街路樹は道路に植える時にも、ある程度スペースがなければいけません。みなさんが見てわかると思いますが、だいたい歩道のある大きい道路に街路樹は植えられています。ただ、昔つくった道路というのは、その基準が合致しないので、歩道の幅が狭いから街路樹がなかなか植えられない。今からそこに植えようとしても、今度は逆に歩道が狭くなるので、歩行者の人たちがとても危ない目に合う。そういった問題もあるので、古い道路に新たに街路樹を植えるというのは、なかなか難しいのかなと考えております。ですから、新しい道路をつくる時には、先ほど市長も申しましたように、山崎八幡宮の前、ここも道路も新しくリニューアルしましたけれども、街路樹のことを地元の方にお聞きして桜の木を植えたということです。ですから、今ある街路樹をいかにきれいに整えていくかということが、今後の課題になっていますので、その辺はしっかり取り組んでいきたいと思っています。

○議長

時間がありませんが、再質問があれば認めます。

◆高杉文梨議員

もし、街路樹を植えてくださるのならば、市民に木の種類の希望を聞いてもらえないでしょうか。

◎市長

市民の方の意見にしっかり聞いて、そして考えていきたいと思っています。

○議長

他に、再質問はありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、富田西小学校の一般質問を終了いたします。

【 富田西小学校4名、議員席に移動 】

○議長

次に、和田小学校のみなさん、質問席に移動してください。

【 和田小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第 5 番、和田小学校

兼重周議員、北中希美議員、佐藤舞議員、竹重智由議員、原響輝議員。

◆兼重周議員

和田小学校 6 年の兼重周です。一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来がこうだったらいいなという姿を、希望を込めて発表します。

ぼくたちは、周南市に住む人が自分たちの地域を大好きになり、誇りに思い続けることができるようになれば良いと思います。ぼくたちが住んでいる和田地区は、人口が減りつづけ、空き家や荒れた田んぼが多くなってきました。

でも、和田地区のことを勉強すると、和田のすばらしさに気づきました。今、和田に住んでいる人が協力して、和田地区の良さを守って残そうとしていることもわかりました。その和田地区が、いつまでも今のままの景観を保ち、住む人が安心して楽しく暮らすことができるようにし、将来、進学や就職で和田を離れたぼくたちが帰ってきた時や、和田を訪れた人を温かく迎えることができるよう、「地域を通過する人や帰ってくる人を温かく迎えるために」というテーマで提案をしたいと思います。

この願いをかなえるために、ぼくたちができることを一人ずつ発表します。

ぼくは、そのためにごみを道に捨てないようにします。また落ちているごみがあったら拾います。

◆北中希美議員

和田小学校 6 年の北中希美です。私は、そのためにごみを捨てないように呼びかけるポスターを描きます。

◆佐藤舞議員

和田小学校 6 年の佐藤舞です。私は、そのために地域の人や和田に来た人に進んであいさつをします。

◆竹重智由議員

和田小学校 6 年の竹重智由です。ぼくは、そのために地域の人と一緒に草を抜いたり、花を植えたりします。

◆原響輝議員

和田小学校 6 年の原響輝です。ぼくは、そのために地域の行事や清掃などの活動に進んで参加します。

ぼくたちのテーマである地域を通過する人や帰ってくる人を温かく迎えるために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、地域の方で和田地区の景観を守るために活動しておられる「久遠の流れの会」会長の伊藤さんからお話を聞きました。伊藤さんは、島地川の川岸に竹が生い茂り見通しが悪くなっていることから、「このままでは、和田地区が島地川で分断されてしまうし、和田のお祭りに訪れた人に見られても恥ずかしい。」との思いから、6 年前に「久遠の流れの会」を立ち上げられて、地区内のいろいろな団体に、島地川の竹藪の伐採や清掃活動と呼びかけられました。老人クラブや自治会など 10 の団体に呼びかけ、年に 4 回程度、分担を決めて川岸の草刈りや清掃活動をしておられるそうです。おかげで春には菜の花が、秋には彼岸花が川岸に咲きそろい、国道 376 号線を通る人の目も楽しませています。これがその写真です。和田小学校でも全校で周辺の道路の草取りや清掃を行っています。地域の行事や環境整備の活動にも進んで参加したいと思います。

◆竹重智由議員

そこで、市長に提案します。

1つ目が、地域の方や他地域から訪れる方のための親水公園や遊歩道の整備についてです。島地川に親しむことによって、より多くの人に環境保全に関心を持っていただけると願っています。遊歩道沿いに花壇を作って植えたり草取りをしたりする活動をすることで、地域の方同士の交流を深めることもできると考えますが、いかがでしょうか。

2つ目は、川沿いの目につきやすいところに掲示板を作ることについてです。環境を守ることを呼びかけるポスターを貼ったり、地域のイベントや清掃活動への参加を呼びかけるチラシを貼ったりすることで、地区内が一体となってよりよい環境を守ろうという意識を高めることができると考えますが、いかがでしょうか。

3つ目は、「久遠の流れの会」のような清掃活動をされている団体への助成についてです。清掃活動をされている団体には、有志の方が草刈りの機械も燃料も自分持ちで作業をしておられるところがあると思います。たとえば「久遠の流れの会」ではお年寄りが多いので、今後参加される方が少なくなることが予想され、一人ひとりの負担が多くなるという声があるそうです。地域のために活動しておられる方の負担が軽減されるような手だてをしてほしいのですが、いかがでしょうか。

以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

みなさんが和田地区に愛着を感じ、地域を大切に考えていることが良くわかり、大変うれしく感じております。また、「地域を通過する人や帰ってくる人を温かく迎えるために」というこういうテーマでの提案は素晴らしいことです。

和田に行きましたら、本当に地域のイベントが盛んだなと思います。世界一長いおもち、ギネスへの挑戦、また、高瀬の匂をクイーン祭、トワイライトフェスティバル、チーム376の方では、映画「高瀬茶に恋した男」を作ったりもされましたね。新たな特産品の開発で「ちくわだ」、これは私も食べました。三作神楽もあるし、津田恒実のふるさと、明治の名僧島地黙雷も和田の出身ですね。本当に素晴らしいことだな、と思います。

ところで、親水公園や遊歩道、これは憩いの場、交流の場として良いものだと思います。ただ、どこに、どのようなものが効果的か、そしてその整備をするのにどれくらいの経費がかかるかななどを検討する必要があると思います。高瀬峡には、サンスポーツランドまでの遊歩道もあります。島地川沿いには国道376号線が並走しており、ホテルの時期には、国道の歩道が遊歩道のようにもなります。今あるものを活用し、素晴らしい自然を楽しむことができる、そうした考え方もあるのではないかとと思います。

掲示板を作るのは簡単かもしれませんが、川沿いの目につきやすいところに掲示板を作るといって、掲示板まで行かないと見ることができないわけでございまして、今、自治会でさまざまな回覧をされているので、その仕組みを使わせてもらって、告知などをする方法も効果的ではないかな、とも感じながら聞かせていただきました。

そして、和田地区では、「久遠の流れの会」を中心に、川岸に生い茂った竹を3、4年かけて伐採し、集落が見渡せる景観をつくってこられました。これは素晴らしいことです。そのおかげで、6月のトワイライトフェスティバルの頃には、歩道からホテルの乱舞を楽しむことができます。

周南市では、各地域で道路や公園などの清掃をボランティアでやっていただいているところでありまして、自分たちの地域を自分たちできれいにしてもらっており、素晴らしいことであると思います。ボランティア清掃等に対して、ごみ袋を配布するなどの支援制度もあります。

そして、もう1つ、和田地区に来られる方を温かく迎えることは、環境保全活動だけではなく、先ほどあいさつの話もされましたが、さまざまな地域活動をされる。そして、みなさんは地域の大人の方が地域のためにどういう活動をされているかを知って、みなさんにもできるお手伝いをしながら、すばらしい和田地域を“共に”つくっていただきたいと思います。

詳しくは、担当部長より答弁をいたします。

◎建設部次長

今、市長が申しましたように、和田地区の国道沿いには歩道が整備されております。この歩道からは、島地川のホタルや和田小中学校周辺の桜や菜の花、彼岸花など、実質的には遊歩道としての役割も果たしております。今後は、この地域を訪れる人々が歩道からずっと美しい景観を楽しめるよう、まずは、地域で環境保全活動などの地域活動に取り組んでいただきたいと思います。

◎地域振興部長

2点目の掲示板を作るということでございますけれども、市長も先ほど申しましたように、掲示板が良いのか回覧が良いのか、いろんなやり方があるかと思いますが、市では自治会の中に掲示板を設置する場合には、設置費用の半分を市が補助金として出すという制度を持っております。あまり大きな規模のものということにはなりませんけれども、こういった掲示板を設けていろいろな方に情報提供することも、考えてみていただきたいと思います。

◎環境生活部長

環境保全活動を行っておられる団体への助成でございますけれども、市では、可燃ごみを入れるごみ袋とか不燃物を入れる土のう袋を無償で配布したり、ごみの回収も行っております。

市の公園とか市道等にあるのり面の草刈であれば、一定の基準ではございますが、金銭による助成も行っております。

山口県が管理する国道及び県道にあるのり面の草刈につきましても、同じように一定の基準の中で金銭による助成も行っております。

また、市や県以外にも、別の団体で環境保全や環境美化活動に対して支援をしておられる団体もおられますので、そういった機関につきましても、ご相談に応じていろいろ紹介してまいりたいと考えております。

○議長

再質問はありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、和田小学校の一般質問を終了いたします。

【 和田小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、三丘小学校のみなさん、質問席に移動してください。

【 三丘小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第6番、三丘小学校

長畠立樹議員、吉水悠真議員、有馬真歩議員、山根輝議員、山本凜緒議員。

◆山根輝議員

三丘小学校6年の山根輝です。一般質問をいたします。はじめに、周南市、特に三丘の未来がこうだったらいいなという姿を、希望を込めて発表します。

私たちが住む三丘は、地域の真ん中を島田川が流れ、周囲を山に囲まれた自然豊かなところです。住む人も優しく、地域が家族のようです。私たちは、三丘が大好きです。

私たちが通う三丘小学校は、全校46人の小さな学校ですが、全校児童は仲良しで、元気なあいさつの行きかう学校です。私たちは三丘小が大好きです。

しかし、三丘地域も三丘小学校も、少しずつ人が減ってきています。私たちは、三丘地域に子育て世代の移住者が増え、たくさん引っ越してきてくれることで、三丘地域がにぎわうことを期待して、「三丘にぎわい大作戦」というテーマを考えました。

豊かな自然や人と人とのつながり、のんびり暮らせる雰囲気などの、三丘の良さを生かして、その良さに共感してくれた人たちに、引っ越してきてもらいたいと思っています。

また、地域がにぎわうためには、地域の行事を盛り上げることや、新しく地域に引っ越してきた人に、仲間になってもらうことが大切だと思います。

そこで、まずは私たちがこのテーマに対して、どんなことができるかについて考えてみました。

私は、そのためにこれから地域の行事に進んで参加したいと思っています。

◆吉水悠真議員

三丘小学校の吉水悠真です。新しく仲間入りした人が安心できるように、ぼくは、これからも三丘小学校に転入してきた人と一緒に遊んだりして、仲良くします。

◆山本梨緒議員

三丘小学校の山本梨緒です。私たちは1年間、三丘小学校を元気な学校にするという目標に向かってがんばってきました。これからもおうちの人が安心して通わせることができるような良い学校にします。

◆有馬真歩議員

三丘小学校の有馬真歩です。中学生になったら地域のイベントにボランティアとして協力するチャンスがあります。私は、それに積極的に取り組みます。

◆長畠立樹議員

三丘小学校の長畠立樹です。ぼくは、三丘の豊かな自然を大切にします。そのためにゴミの分別や地域の清掃活動に進んで参加します。

◆山本梨緒議員

次に、私たちのテーマである「三丘にぎわい大作戦」を実現するために、私たち一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

三丘地域では、すでに地域のコミュニティ「ほっと三丘コミュニティ協議会」が中心となって、「ずっと子どもがいるまちプロジェクト」を進めています。わたしたちの中にも、このプロジェクトで転校してきた人がいます。

わたしたちは、地域の方々との繋がりを深めるために、あいさつ運動に取り組んでいます。また、地域行事に進んで参加することに取り組みたいです。そして、子どもを安心して通わせることができる、良い学校をみんなでつくっていきたいと思います。

◆有馬真歩議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、子育てをしやすいまちにするために、「児童センターでもあり子育て支援センターでもある施設」を作りたいということです。0才からの子どもが楽しく遊べたり、子どもを安心して預けることのできるような施設ができれば、子育てしやすいまちとなり、移住者を増やすことができると思いますが、いかがでしょうか。

2つ目が、「子育てサポート隊」をつくることです。地域住民を中心に子どもをもつ親を支える子育て支援グループを作ります。普段から交流を深めながら、子どもが発熱して保育園などで預かってもらえない時などに面倒を見てもらえるなど、困った時に助けてもらえたり、子育てに関する相談などにも乗ってもらえたりします。子育て中の方にはとても助かるのではないかと思います。

3つ目が、「移住お試し期間」です。空き家を活用したお試し用の家を用意しておき、希望者には数ヶ月から1年ぐらいお試しで三丘に住んでみるすることができます。三丘での生活を実際に体験して、それから本格的に移住することができれば、安心して引っ越してきてくれると思います。

以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

みなさんが言ってくれた「私たちは三丘が大好きです」、「私たちは三丘小学校が大好きです」という言葉は、大変うれしい言葉です。「三丘にぎわい大作戦」、誰が考えたの。いいね。

現在、周南市では、「子育てするなら周南市」を合言葉に、結婚から妊娠、出産、子育てと、切れ目のないサポートをしているところです。子育て世代包括支援センターとして「はぴはぐ」というのを設置しています。子育て応援サイトアプリ「はぴはぐ」も開設しています。熊毛地区には、熊毛子育て支援センター「たんぽぽ」があります。また、今年の4月からは、地域の公民館が「市民センター」になりまして、いろいろな使い方ができるようになります。新しい子育て支援センター、こういうハコものを作るのではなく、今ある施設を、地域の皆さんで創意工夫して活用してもらえればと思っています。「子育てサポート隊」というアイデア、これは地域全体で子育てをするという考えで、大変良い提案だと思います。市内に子育て支援サークルなどはありますけれども、困った時に助け合うようなものは現在ないので、是非、三丘に作ってほしいと思います。

そして、三丘地区では平成27年度から地域の夢プランであります「みつおずっとこどもがいるまちプロジェクト」を作られまして、地域の皆さん総出で取り組まれておられます。夢プラン、これはそれぞれの地域で、地域のみなさんが対話しながら、地域の課題は何だろう、地域の財産は何だろう、地域の将来像はどうすべきだろう、これを考えられまして、その夢、将来像の実現のために取り組む目標や活動を盛り込んだ地域の活性化計画です。その結果、三丘地区では、平成24年から平成28年の5年間で12世帯42人、そのうち子供が21人と、大変な成果をあげておられます。里の案内人も16人おられますし、三丘地区は、周南市内でも一番取組が進んでいると考えています。移住お試し期間、これは実際にそこに住む体験ができるので、良いアイデアだと思います。自分たちの地域の将来像を描いて、その将来像に向かって地域のみなさんが自ら行動する、これが何よりも地域のにぎわいにつながるのだと思っています。みなさんには、今日、発表してくれたことを自分で実行しながら、地域の皆さんと“共に”三丘地区がもっとにぎわうように、取り組んでいてもらいたいと思います。

詳しくは、こども健康部長、地域振興部長、熊毛総合支所長から答弁してもらいます。

◎こども健康部長

はじめに、児童センター、子育て支援センターを作る、という提案ですが、新しい施設を作ること、維持管理することは、非常にたくさんのお金がかかることなんですよね。これをまず考えないといけません。それと同時に、地域には利用できるどんな施設があるのか、そこではどんなことが行われているのか、何をやっているのか、これを知ることが大切です。

みなさんから提言のあった児童センターですが、先ほど市長からも申し上げましたが、ある施設を使う。これから公民館は市民センターになります。例えば、三丘徳修館が、みなさんと市で話し合いをして、三丘地区の子供が安心して利用できる場所にできないかな、できたらいいなと考えています。

それから、子育て支援センター、これは市内に11か所ありますが、熊毛にも1つあります。まず、この熊毛地区の子育て支援センターを、三丘地区の乳幼児の保護者の方もしっかり利用してもらえるように、みなさんの意見も聞いて、工夫していきたいと思っています。

それから、子育てサポート隊、これもすばらしいですね。市でもいろいろなことをやっています。ファミリーサポートセンターでお手伝いできる会員の方が子供の送迎をしています。三丘保育園でも一時預かりをしています。病気の子供さんも大河内のふじわら医院さんでお預かりすることができます。いろんなサービスを展開していますけれども、今回の子育てサポート隊、すばらしい提案です。市ではこういった取組をしっかりと応援するために、「子育て支援活動補助金」という制度も設けています。しっかりみなさんと一緒に話して、まずは三丘から子育てサポート隊が立ち上がって、これを市内全体に広げていくことができればいいなと思っています。

よろしく申し上げます。

◎地域振興部長

私からは、移住についてのご質問にお答えします。移住の実績を先ほど市長からも申し上げましたように、三丘地区の移住の取組はとても進んでいると思っています。

そこで、空き家を利用した移住のお試し期間を設けては、ということですが、この取組もとてもすばらしい良いアイデアだと思っています。移住する人は自分が移住しようと思う地域のことをいろいろ調べておられますが、実際にどうかはやっぱり住んでみないと良くわからないということもあろうかと思えます。少しの期間、試しに住んでみたいという方もたくさんいらっしゃいます。こうした要望に対応するために、周南市では地域ぐるみでそういった取組をしてみたいという地域のために、「お試し暮らし体験制度」というのを設けています。この制度を活用して、お試し暮らしができる空き家を探し改修して取り組んでおられる地域が、今、市内に4つあります。鹿野地区、須金地区、大道理地区、そして大津島地区の4つの地域にそういうお試し暮らしができる住宅を設けていらっしゃいます。どれぐらいお試しをするか、というのはそれぞれの地域で違いますが、今やっておられるところは、だいたい1週間から2週間程度で、みなさんの提案は、数ヶ月から1年ぐらいということでしたので、もう少し短い期間のお試しということをされています。そういったことを、市でも「地域づくり応援サイト」というホームページを持っておりませんが、そこでこういったことができますよ、ということをしてPRしています。

三丘地区でもこうした取組をしていただくことで、もっと移住する方が増えるのではないかな、と思っておりますのでよろしく申し上げます。

◎熊毛総合支所長

先ほど、議員が言われました「みんなが家族のように」という言葉にたいへん感動しました。これからもずっとそうであって欲しいと思います。たくさんの良い提案をいただきました。これは、みなさんが日頃から地区のプロジェクトに参加し、たくさんの活動をしておられるからだと思います。市長が申しましたように、まずは、今ある制度そして施設を利用させていただきたいと思いますが、市にもPR不足があると感じております。これからしっかりPRをしてみなさんにお知らせしたいと思います。みなさんも今日ここで知ったことをお伝え願いたい。PRには、口伝えが一番効果的です。是非みなさん、周りの人に教えていただきたいと思います。

今日はありがとうございました。

○議長

時間が経過しましたが、再質問があれば認めます。

◆長畠立樹議員

子育て支援センターについて、具体的に提案します。新しい建物を建設することが難しいようでしたら、今ある建物の活用はどうでしょうか。三丘では、JAの建物が空き家のままになっています。これを貸してもらうなどして、子育て支援センターを整備してはどうでしょうか。JAには外遊びができるグラウンドはありませんが、小学校が近いので小学校のグラウンドを使うことで、小学生との交流もできるのではないかと思います。

◎こども健康部長

今ある建物を有効に使う。特にこれからの時代は、非常に大事なことだと思います。私たちも今ある施設を使って、子供のみなさんが安心して過ごせる居場所をつくる、これを常に考えています。こうやって考えてみると、三丘地区は三丘小学校がありますし、三丘徳修館、三丘徳修公園、それから三丘保育園もあります。今は車で移動する時代ですから、先ほどの熊毛子育て支援センター、熊毛図書館もあります。また、市の施設ではないのですが、熊毛北高校も実は三丘地区内にあるということで、こうやって見てみると、意外と三丘地区は、周辺に子供、子育てに関する施設が充実しているように思います。

交流の話が出ましたけれども、今ある施設を有効に使って交流をする。乳幼児親子さんと三丘小学校のみなさんとの交流ができないのかな、と思います。実は今年度、市内の中学校で、中学生と乳幼児親子のふれあい体験事業というのが行われました。これ、同じように、例えば三丘小学校、三丘保育園、三丘徳修館、こんな施設を使って、三丘地区の乳幼児の親子とみなさんとの交流ができないのかな、と思います。

みなさんには、「三丘にぎわい大作戦」の中で引き続きこういったことも考えて、改めて提案してくれるとうれしいです。今日はありがとうございました。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆吉水悠真議員

おうちの方数名から、JRの駅を結ぶ、朝夕の循環バスがあるといいのだが、という意見がありました。三丘からJRを使って高校に通う時に、近くの駅まで距離があります。今は自転車を利用したり送り迎えをしてもらったりしていますが、朝夕の通学時間帯に、JRの駅と三丘をつなぐ巡回バスがあればとても助かるということでした。高校生だけでなく、地域の方も利用できるようにしておくことで、高齢者の方々にも便利になるし、交流の場にもなるのではないかと思います。

◎都市整備部長

確かに、今、三丘から近くのJRに行くバスは走っていません。ただ、徳山駅に行くバスも1日4便程度、それから島田駅の方に行くバスも1日4、5便出ているかと思います。朝は、通勤通学に考慮した時間帯で走らせているとは思いますが、それを利用してもらいたいと思います。公共交通機関をうまく使っていただいて、今使っている路線で改善してほしいということがありましたら、それを教えていただければ改善につながっていくのかと思います。

とにかく、今ある公共交通をいっぱい使ってください。よろしくお願いします。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 「ありません」と呼ぶ者あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、三丘小学校の一般質問を終了いたします。

【 三丘小学校5名、議員席に移動 】

○議長

これをもって、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

ここで、市長からあいさつがあります。

◎市長

こども議員のみなさん、本日は素晴らしい提案や意見をありがとうございました。この議場での発言、みなさんの緊張感が私にも伝わってきました。みなさんの質問や提案をお聞きしながら、周南市のまちづくりについて一生懸命考えてくれたこと、これをひしひしと感じました。自分たちが学校や地域でできることを聞かせていただきながら、みなさんが自分たちの住んでいる地域を良くしようと一生懸命考えてくれたことを、とても嬉しく頼もしく思いました。みなさんの思いが少しでも実現できるように、これからはしっかりと検討をまいります。

そして、みなさんはもうすぐ中学生になります。これまでは、ご家族や学校の先生、地域の方々に支えられて成長してきましたが、これからは自分で考えなければならない機会も増えてきます。自分たちの住んでいるまちが良くなるためにはどうしたらいいかということを考えながら、地域活動にも積極的に参加していただきたいと思います。みなさんはそれぞれの地域、そしてふるさと周南市の一員であります。未来の周南市のために“共に”まちづくりを進めていきましょう。本日はありがとうございました。

○議長

私の方から、一言あいさつをいたします。みなさんは、今日のこども議会に備えて、しっかりと学校で学習されたことだろうと思います。その学習の成果が発揮できましたか。

みなさんが、日頃から心に留め、身近に感じている疑問や課題、そして未来の周南市にかける思いをしっかりとお聞きしました。もちろん、実現できることやできないこともあります。次の時代を担うみなさん方のために、議会も明るく住みやすいまちづくりに、市長とともに協力しながら取り組んでいきます。

みなさんも満18歳になると、政治に参加する権利である選挙権があり、市民の代表を選ぶことができます。そして、満25歳になると市議会議員に立候補することもできます。是非、今日のこども議会を体験したみなさんの中からも、将来、議員を目指す方が出ることを期待しています。一緒にがんばりましょう。今日は大変ありがとうございました。

○議長

これで会議を閉じます。

以上で、平成29年度周南市子ども議会を閉会いたします。みなさん、お疲れ様でした。

午後3時48分閉会

ここに署名する。

周南市子ども議会 議員 有馬 真歩

周南市子ども議会 議員 生田 鈴乃